



プラスチックリサイクル を支える分析・評価技術セミナー

カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーの推進に伴い、再生プラスチックには品質管理やトレーサビリティ、規制対応が求められています。

本セミナーでは、日立グループの分析技術を活用したプラスチック材料の評価方法を、アプリケーション事例を交えてご紹介します。

蛍光分析・熱分析・滴定などを用いた材料開発や品質管理に役立つ分析手法を分かりやすく解説します。

10月22日 木

13:30 - 15:40

定員

20名

※定員に達し次第、締切となります

参加費

無料

お申し込み

WEBフォーム、メールまたはFAX ※裏面



✉ seminar-2@k-okuma.co.jp

会場

水島愛あいサロン 東棟 2 F 会議室

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-50



プログラム

第1講 13:30~14:00

劣化挙動と含有元素把握によるリサイクルプラスチックの品質管理

第2講 14:00~14:30

多変量解析を用いたプラスチックの蛍光指紋データの活用

第3講 14:40~15:10

熱分析でできるプラスチック材料の物性評価

第4講 15:10~15:40

プラスチック材料におけるカールフィッシャー水分測定

※詳細は裏面に記載

主催 (株) 大熊

共催 (株) 日立ハイテクアナリシス ・ (株) HIRANUMA ※順不同

プログラム詳細

第1講 13:30~14:00

劣化挙動と含有元素把握によるリサイクルプラスチックの品質管理

- ・日立グループのサステナビリティへの取り組み
- ・プラスチック資源循環を取り巻く課題
- ・リサイクル材の品質評価・トレーサビリティ・規制対応
- ・DSC、HPLC、TD-MS、蛍光分析などを用いた評価事例の紹介

第2講 14:00~14:30

多変量解析を用いたプラスチックの蛍光指紋データの活用

- ・蛍光分光法・蛍光指紋の基礎
- ・多変量解析（主成分分析・PLS等）の概要
- ・PETの紫外線劣化評価などのアプリケーション事例

第3講 14:40~15:10

熱分析でできるプラスチック材料の物性評価

- ・DSC・TG・TMAによる熱分析の基礎
- ・融点・ガラス転移・結晶化度・分解温度の評価
- ・リサイクル材・フィルム・成形品の評価事例

第4講 15:10~15:40

プラスチック材料におけるカールフィッシャー水分測定

- ・カールフィッシャー水分測定の基礎
- ・プラスチック材料の水分測定事例
- ・多検体測定システムなどによる効率化・省力化のご提案

参加申込書

お名前：

勤務先：

部署：

住所：

TEL：

FAX：

☒ アドレス：



Web申込フォームはこちら

Web、FAXの他、メールでも受付けております。

FAX.086-209-0103

備考欄 ★本セミナーについて事前にご質問がある場合はご記入下さい。（テーマ以外の内容でも結構です）

当日のご都合が合わない方に向け、資料請求も承ります。

ご希望の資料を選択の上、お申込みください。

Web申込からも受付ております。

☐ 資料請求を希望する

☐ セミナー資料 ☐ カタログ（装置の指定があれば、上記備考欄へ記載ください。）

※お申込み・資料請求の受付確認は、担当者よりメールにてご回答差し上げます。

ご記入いただいた個人情報は、参加者の管理、お問い合わせへの回答、および資料送付の目的にのみ利用いたします。
法令に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者に提供することはありません。

お問合せ

(株)大熊 セミナー係



086-209-0102



seminar-2@k-okuma.co.jp